



句集 鏡の桃



Shoji Koko

庄子紅子



2026年度 現代俳句協会年度作品賞 を受賞した

実力俳人・庄子紅子による第二句集。

現実と幻想を行き来し、ときにユーモラスに、ときに不穏な気配を漂わせながら、身近や家族、現代社会を鮮やかに詠む。

自在なまなざしから生まれた、詩的な世界が魅力の一冊！

日常の襖をふっと開ければ、
そこには不可思議な世界が広がっている。

—— 仲 寒蟬 （「牧」代表）

序文=仲 寒蟬

四六判並製/180頁/定価2640円(10%税込)



著者＊庄子紅子（しょうじ こうこ）

1957年 岩手県花巻市生まれ。

1994年 「港」入会、大牧広に師事。

2014年 第一句集『静電気』上梓。

「港」終刊の後、2020年 「牧」「青岬」会員。

2026年 第27回現代俳句協会年度作品賞受賞。

現在 「牧」会員、現代俳句協会会員、宮城県俳句協会会員。

—— 収録作品より ——
春愁は耳のかたちをして春の馬
神童の眼差しをして春の馬
受験生の顔出来上がる向ひ風
子を帰し噴水に日の当たりたる
いつか月になりたき水母発光す
映されて鏡の桃の匂ひ立つ
鳥籠や秋風はどこからも入る
鷹揚に電車の傾ぐ冬至かな
焼売はモスクのかたち冬の雲
肉体のあるあやふさの浮寝鳥

ご注文はJRCへ FAX: 03-3294-2177

●JRC より全ての取次への出荷が可能です。●返品は長期にお受けします。（了解者 JRC 宮尾）

番線印	注文数	句集 鏡の桃 庄子紅子 著
	冊	
ご担当： 様	注文日	四六判 / 並製 / 180頁 / 定価：2640円(本体2400円＋税10%) ISBN978-4-911090-51-0 C0092
	／	